

Display View

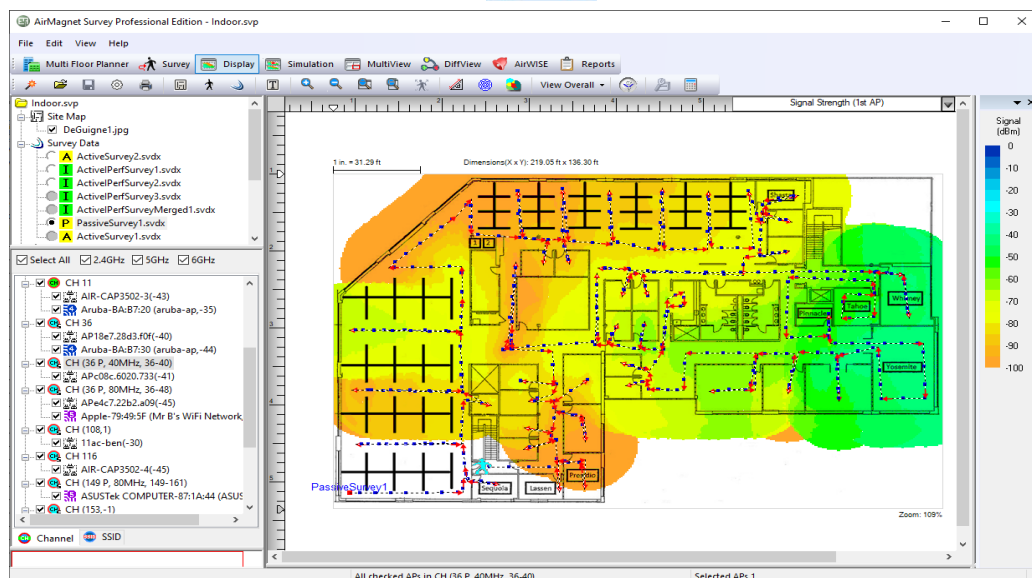
チャプタ:

Display viewについて	107
サイトマップの表示	107
サーベイデータの表示	107
サーベypass(経路)の表示	108
Channel/SSID リスト	108
コメント	110
フロアプランスケールの測定と調整	110
サーベイデータのマージ	113
フィルタリングされたデータファイルの作成	115
Displayビューのメニューとウインドウ	115

Display viewについて

「Display」ビューは、データの表示、分析、操作のために設計されています。通常、このビューを使用するのは、完了したサーベイ、またはサイトプランを保存した後です。

Displayビューを開くには、ナビゲーションバーの  **Display** をクリックします。



プロジェクトファイル(.svp)を開くと、デフォルトでDisplayビューが表示されます。このビューには、データが表示されずにサイトマップのみが表示されます。サイトマップの上にデータを表示するには、プロジェクトウィンドウの「Survey Data」に表示されているデータファイルのラジオボタンをクリックします。

NOTE: この機能が有効になっている場合、AirMagnet Survey PROを実行していると、Spectrum XTウィンドウが表示されることがあります。「[スペクトラムアナライザを有効にする](#)」を参照してください。

サイトマップの表示

デフォルトでは、「Display」ビューに切り替えると、最近開いたサイトマップが自動的に選択され表示されます。プロジェクトに複数のサイトマップが含まれている場合、まだ開かれていなければ、表示したいサイトマップを選択する必要があります。

サイトマップを選択するには:

サイトマップの前のチェックボックスを選択します。選択したサイトマップがマップウィンドウに表示されます。

サイトマップの選択を解除するには:

以下のいずれかを実行します:

- サイトマップの前のチェックボックスをオフにします。
- 別のサイトマップを選択します。

サーベイデータの表示

各サーベイデータファイルには RF データが含まれています。デフォルトでは、Displayビューに切り替えてもマップウィンドウにはサーベイデータは表示されません。表示するには、サーベイデータファイルを選択する必要があります。

サーベイデータファイルを表示するには:

データファイルの前にあるラジオボタンをクリックします。ファイルがロードされると、選択したサーベイデータファイルのデータがマップウィンドウに表示されます。データファイルを開くのにかかる時間は、ファイルのサイズによって異なります。サーベイデータファイルによっては、そのファイルに含まれるデータ量が膨大なため、ロードに大幅に時間がかかる場合があります。


サーベipas(経路)の表示


サーベipデータをより深く理解するために、AirMagnetはサーベipデータを解析するときにサイトマップにサーベipパスを表示することを推奨しています。これにより、データの物理的なコンテキストが提供されます。

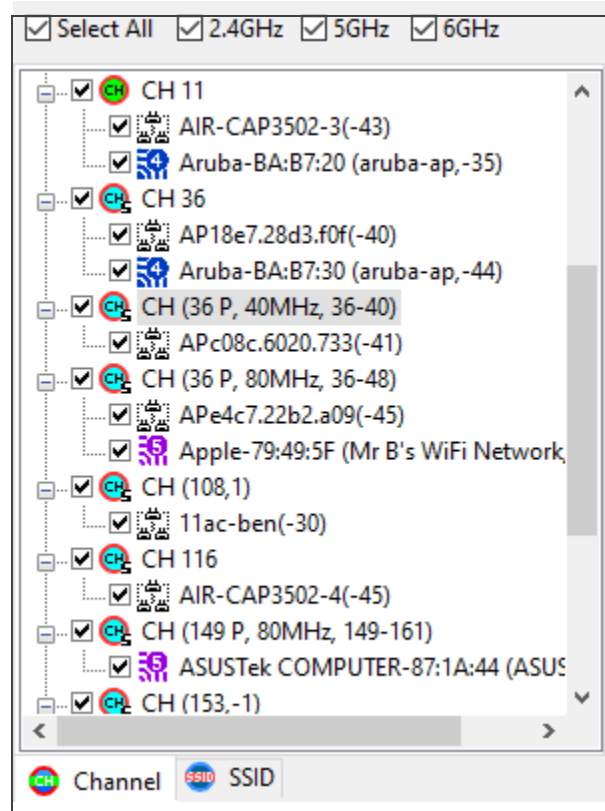
サーベipパスを表示するには: サーベipパスのチェックボックスを選択します。選択したサーベipパスがマップウィンドウに表示されます。

サーベipパスを非表示にするには: サーベipパスの前のチェックボックスをオフにします。

Channel/SSID リスト

Channel/SSID リストには、選択したサーベipデータファイルに含まれるチャンネルまたはワイヤレスネットワークが表示されます。リストの下にあるChannelまたはSSIDタブ  をクリックすることで選択できます。

プロジェクトリストでデータファイルを選択すると、チャンネル/SSID リストを展開して個々のAPを表示できます。APは、タブの選択に応じてチャンネルまたはSSIDごとに整理されます。APには、関連する802.11a/b/g/n/ac/axアイコン( など)が表示されます。Wi-Fi 5/Wi-Fi 6 APには、プライマリチャンネル、チャンネル幅、およびチャンネルスパンが含まれます。



Displayビューのこの部分には、データ表示を操作するための以下のコントロールオプションが含まれています：

Select All: このオプションは、ボタンをクリックするだけで Channel/SSID ツリー内のすべてのエントリ(チャンネル、SSID、AP など)を選択または選択解除することができます。デフォルトでは、サーベipデータファイルがロードされると、Channel/SSID ツリーのすべてのエントリが選択され、ファイルに含まれるすべてのデータがマップウィンドウに表示されます。

1つ以上の特定のチャンネル、SSID、またはAPIに関連するデータに焦点を当てたい場合は、このオプションのチェックを外してすべての選択をクリアします。この時点で、最も関心のあるエントリのみを手動で選択できます。これらのフィルター選択は、ヒートマップのデータタイプ オプションを変更するときに保持されます。

2.4 GHz: このオプションを使用すると、2.4 GHz (802.11b/g/n/ax)スペクトラムの信号情報を表示または非表示にすることができます。これにより、両方のタイプを含むマップ上で 802.11b/g/n/ax データと 802.11a/n/ac/ax を簡単に区別できるようになります。

5 GHz このオプションを使用すると、5 GHz (802.11a/n/ac/ax)スペクトラムの信号情報を表示または非表示にすることができます。このオプションを上記の 2.4 GHz オプションとともに有効にすると、802.11a/b/g/n/ac/ax デバイスの両方を使用する環境で検出されたすべてのメディアタイプが表示されます。

Note: 選択したAPIに関連するデータのみを含む、フィルタリングされたサーベイデータファイルを作成することもできます。「[フィルタリングされたデータファイルの作成](#)」を参照してください。

フロアプランにAPを配置する

Displayビューでは、チャンネル/SSID リストを展開してサーベイデータ ファイルに含まれるAPを表示できます。

必要に応じて、このリストからAPをフロアプラン上の位置にドラッグできます。

これにはいくつかのメリットがあります：

- APの物理的な位置をレポートに表示
- AP電力設定の変更
- Cisco ロケーションベースのサービスなどの機能の使用

Note: 複数の無線を持つ物理APは、無線機の数に応じて **Channel/SSID** リストに複数表示されることがあります。この場合、フロアプラン上でAPを重ねて配置することができます。

配置後にAPのプロパティを変更するには、APを右クリックして「**AP Properties...**」を選択します。これにより、「**AP Properties**」ダイアログが開きます。(編集できるオプションは一部のみです。)

AP Properties

AP Properties

Alias **Project**

AP Name **E6:CB:BC:51:A4:BE**

Channel **(1)**

MAC Address	SSID
E6:CB:BC:51:A4:BE	NSVisitor

Media Type **Wi-Fi 5**

Channel Width (Capability) **20 MHz**

Op. Mode **Mixed VHT**

Phy. Data Rate **385.20 Mbps**

Max Signal Sampling Data **-74** dBm

Count of Sampling Points **186**

You can drag and drop the AP to set its location.

X Y Feet

OK **Cancel**

Alias Name: Alias名を入力して、MACアドレスを任意のわかりやすい名前にマッピングします。

Alias名は、Channel/SSID リストのAP情報の行に含まれます。Aliasの横にあるドロップダウンメニューを選択すると、Alias名をプロジェクト全体に適用するか、現在開いているサーベイのみに適用することができます。

「MyAccessPoints.txt」の項目のフォーマットは以下の通りです：

MAC Address, alias

例えば：

01:23:45:67:89:0A, My Favorite AP

Original and Simulated Power Setting 電力設定をミリワット単位で変更することもできます。「Apply power setting」を選択し、「Center on AP」チェックボックスをチェックして、APの周囲に電力設定を適用します。

OKをクリックして変更を保存します。

Note: サーベイプロジェクト (Surveyビュー) へのAPの追加、プロジェクトおよび個々のデータファイルから配置したAPの削除については、「[サーベイにAPを配置する](#)」を参照してください。

コメント

AirCheck G3 または EtherScope nXG を使用して実行された AirMapper サイトサーベイでは、フロアプラン上のサーベイポイントに対するコメント機能に対応しています。これらのコメントは、**Display**ビューで表示できます。



サーベイポイントに対する1つのコメントを表します。



同じサーベイポイントに複数のコメントがあることを示します。(これは、同じサーベイポイントにコメントがある 2 つのデータファイルをマージした後に発生する可能性があります)。

コメントを表示するには、コメントアイコンの上にマウスを置きます。ポップアップバブルにコメントテキストが表示されます。


- コメントアイコンを右クリックすると、そのアイコンのコメントダイアログが表示されます。
 - 同じ場所に複数のコメントがある場合、すべてのコメントが同じダイアログに表示されます。それぞれのコメントにはタイムスタンプが押され、識別しやすくなっています。
 - ダイアログでは、上下にスクロールしたり、コメントをスクロールすることができます。
 - コメントが重複している場合、重複したコメントのうち最新のものだけが表示されます。
- コメントアイコンを非表示または再表示にするには、フロアプラン上で右クリックします。コメントを非表示にするには、「Hide Comments Icons」を選択します。「Hide Comments Icons」オプションがチェックされている場合は、コメントが非表示になっていることを示します。コメントを再表示するには、フロアプラン上で右クリックし、「Hide Comments Icons」のチェックを外します。
- サイトサーベイファイルをマージすると、ソースファイルに含まれるすべてのコメントがマージされたファイルに含まれます。
- サイトサーベイファイルをフィルタリングすると、すべてのコメントが元のファイルからフィルタリングされたファイルにコピーされます。
- レポートを除き、アクセスポイントの位置表示が対応しているすべてのビューにコメントが表示されます。
- コメントの編集はできません。読み取り専用です。

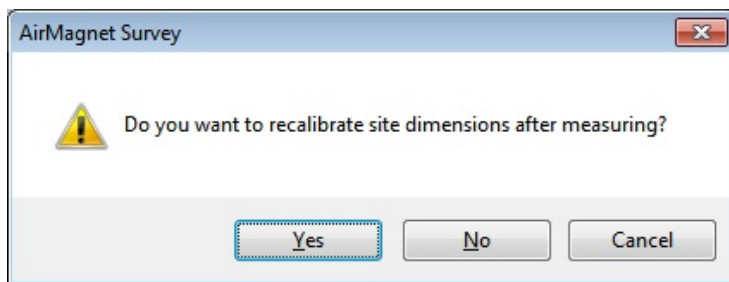
フロアプランスケールの測定と調整

この使いやすい測定ツールで、フロアプランの縮尺に対する距離を測定できます。また、フロアプランの縮尺 (フィートまたはメートル) を再調整することもできます。

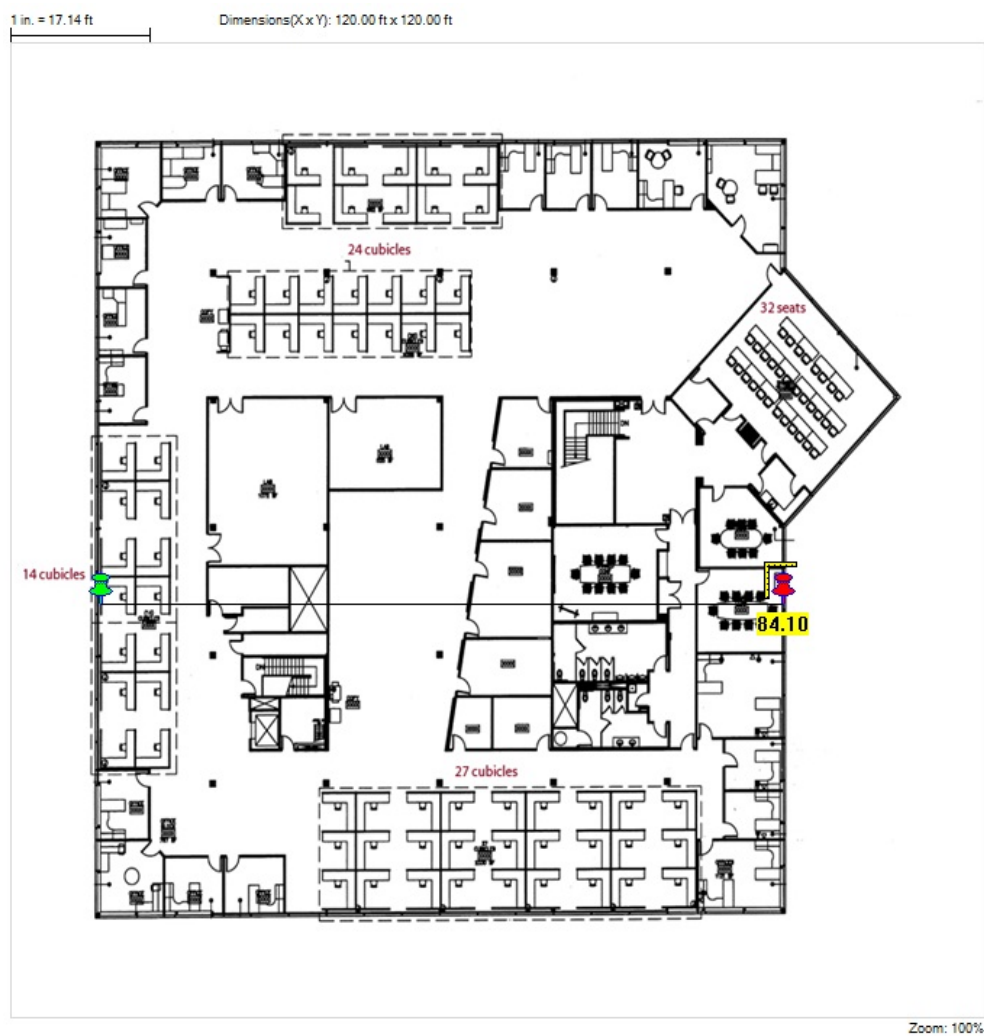
新しいプロジェクトを作成し、フロアプラン画像を読み込むと、フロアプラン画像の寸法をフィートまたはメートル (X および Y 寸法) で入力するオプションがあります。この方法で寸法を入力すると、画像に含まれる可能性のある建物の外周以外の余白が含まれることに注意してください。ほとんどの場合、スケールを再調整の方が正確です。実際、新規プロジェクト作成時に寸法を空白のままにしておくと、プロジェクトウィザードの最後に、デフォルトの縮尺を再調整するよう求められます。

フロアプランのスケールを再調整するには：

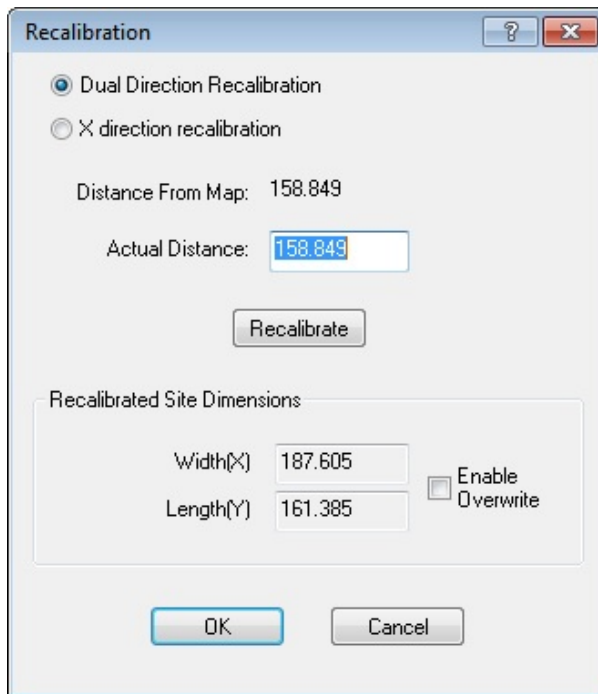
- ツールバーから「Measure Mode」ツール  をクリックします。測定するか再調整するかを選択するプロンプトが表示されます。再調整するには、「はい」をクリックします。



- フロアプラン上で、実際の距離のわかる2点をクリックします。(一般的に、短い距離よりも長い距離を使用した方がより精度が高くなる傾向があります)。「Recalibration」ダイアログが開きます。




- 測定した「Actual distance」の正しい値を入力し、「Recalibrate」をクリックし、「OK」をクリックします。

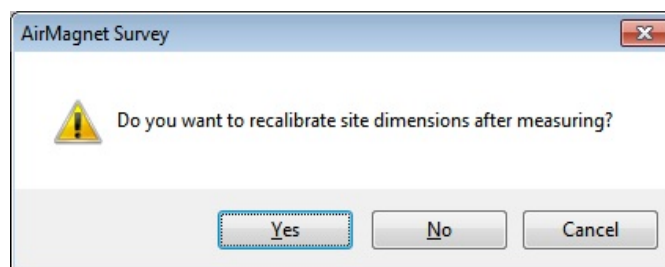


The 'Recalibration' dialog box contains the following elements:

- Buttons: '?' and 'X' in the top right corner.
- Radio buttons: 'Dual Direction Recalibration' (selected) and 'X direction recalibration'.
- Text: 'Distance From Map: 158.849'.
- Text input: 'Actual Distance:' with a text box containing '158.849'.
- Button: 'Recalibrate'.
- Section: 'Recalibrated Site Dimensions'.
- Text inputs: 'Width(X)' with value '187.605' and 'Length(Y)' with value '161.385'.
- Checkbox: 'Enable Overwrite' (unchecked).
- Buttons: 'OK' and 'Cancel' at the bottom.

フロアプラン上の距離を測定するには:

- ツールバーから「Measure Mode」ツール  をクリックします。測定するか再調整するかを選択するプロンプトが表示されます。測定する場合は、「はい」をクリックします。



The 'AirMagnet Survey' dialog box contains the following elements:

- Buttons: 'X' in the top right corner.
- Icon: A yellow warning triangle with an exclamation mark.
- Text: 'Do you want to recalibrate site dimensions after measuring?'.
- Buttons: 'Yes', 'No', and 'Cancel' at the bottom.

2. 測定開始点をクリックします。マウスを動かすと、プロジェクトで選択されている測定単位に応じて、距離がフィートまたはメートルで表示されます。終了点をクリックして測定を完了します。



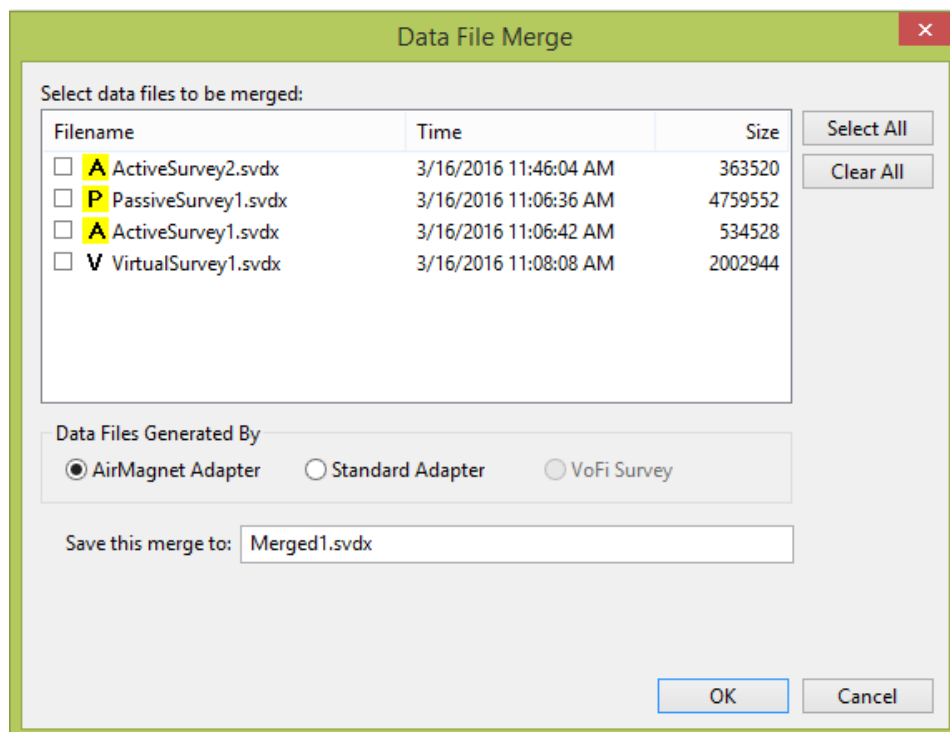
サーベイデータのマージ

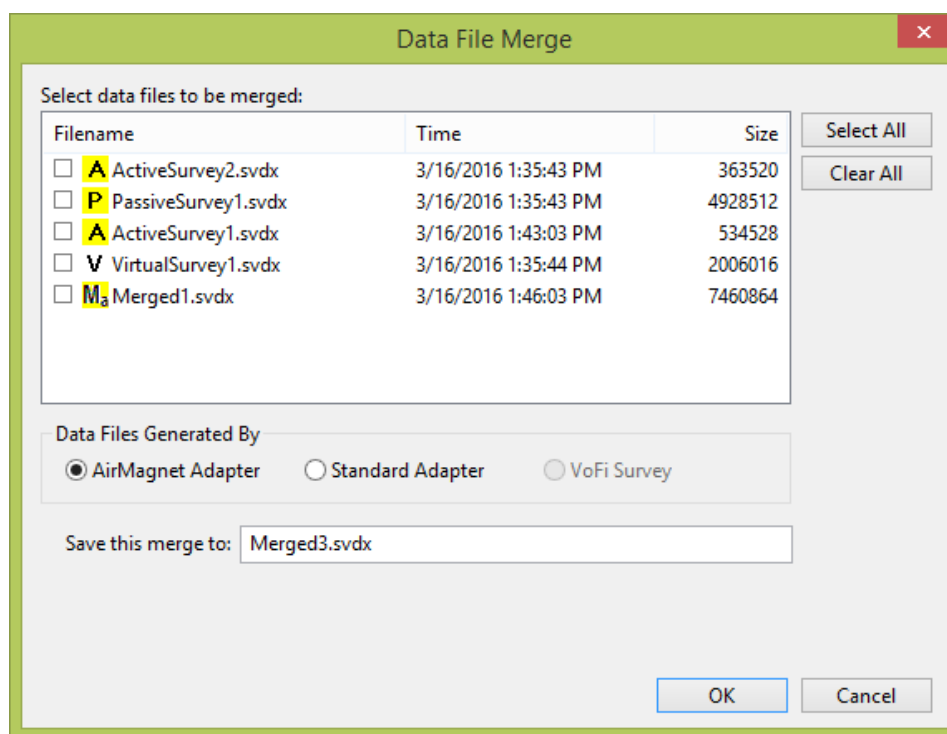
サーベイデータのマージとは、異なるサーベイデータファイルを、個々のファイルから収集されたすべてのデータを含む1つのファイルにまとめることを意味しています。

Note: 2つのデータファイルに同じMACアドレスを持つAPが配置され、いずれかが移動された場合、サーベイ間でAPの位置が変更されたことを示すプロンプトが表示されます。

サーベイデータファイルをマージするには:

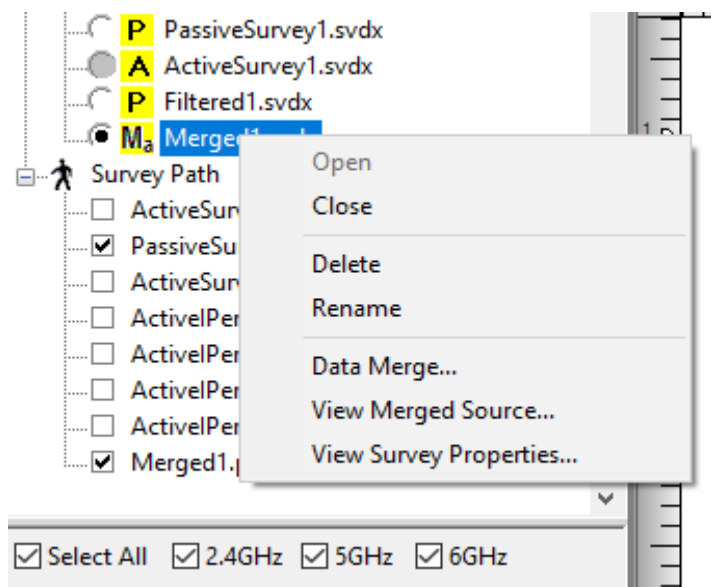
1. 「File」>「Data Merge...」をクリックします。「Data File Merge」ウィンドウが表示されます。





- プロジェクトにAirMagnetアダプタと非推奨アダプタの両方で生成されたデータファイルが含まれている場合、同じタイプのファイルのみマージできます。この場合、「Data Files Generated By」で目的のアダプタを選択します。そのアダプタタイプで作成されたデータファイルのみがリストされます。
- マージしたいファイルにチェックを入れます。
- 「Save this merge to」に、マージしたファイルに任意の名前を入力します。
- 「OK」をクリックします。ファイルマージの進行状況バーがマップウィンドウの下部に表示され、マージ操作の進行状況が示されます。マージが完了すると、新しくマージされたファイルがプロジェクトウィンドウの「Survey Data」に表示されます。
- マージされたファイルを表示するには、そのファイルの前にあるラジオボタンをクリックします。

Note: マージされたファイルが作成された後、ファイルを右クリックしてポップアップメニューから「View Merged Source...」を選択すると、マージされたファイルの作成に使用されたソースファイルのリストを表示できます。

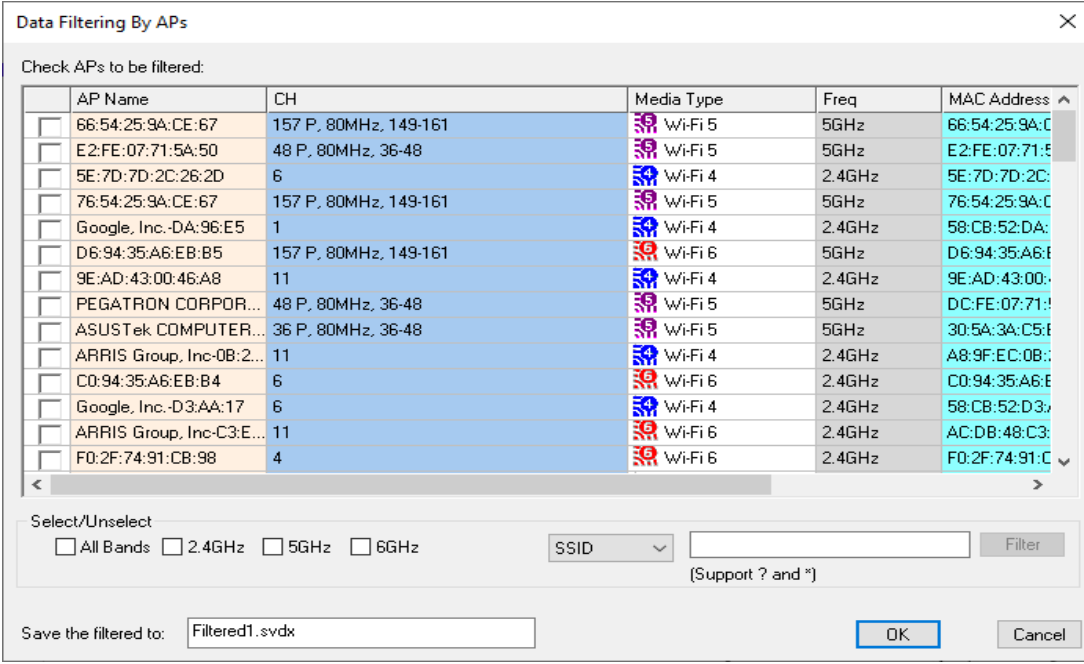


フィルタリングされたデータファイルの作成

サーベイデータファイルのサブセット(フィルタリングされたデータファイル)を 1 つ以上作成することができます。フィルタリングされた新しいデータファイルは、Survey Dataファイルのリストに追加されます。

フィルタリングされたデータファイルを作成するには:

1. 目的のサーベイデータファイルを選択します。
2. ツールバーから「Filtering」 をクリックします。「Data Filtering By APs」ウィンドウが表示されます。



Data Filtering By APs

Check APs to be filtered:

	AP Name	CH	Media Type	Freq	MAC Address
<input type="checkbox"/>	66:54:25:9A:CE:67	157 P, 80MHz, 149-161	Wi-Fi 5	5GHz	66:54:25:9A:CE:67
<input type="checkbox"/>	E2:FE:07:71:5A:50	48 P, 80MHz, 36-48	Wi-Fi 5	5GHz	E2:FE:07:71:5A:50
<input type="checkbox"/>	5E:7D:7D:2C:26:2D	6	Wi-Fi 4	2.4GHz	5E:7D:7D:2C:26:2D
<input type="checkbox"/>	76:54:25:9A:CE:67	157 P, 80MHz, 149-161	Wi-Fi 5	5GHz	76:54:25:9A:CE:67
<input type="checkbox"/>	Google, Inc.-DA:96:E5	1	Wi-Fi 4	2.4GHz	58:CB:52:DA:96:E5
<input type="checkbox"/>	D6:94:35:A6:EB:B5	157 P, 80MHz, 149-161	Wi-Fi 6	5GHz	D6:94:35:A6:EB:B5
<input type="checkbox"/>	9E:AD:43:00:46:A8	11	Wi-Fi 4	2.4GHz	9E:AD:43:00:46:A8
<input type="checkbox"/>	PEGATRON CORPOR...	48 P, 80MHz, 36-48	Wi-Fi 5	5GHz	DC:FE:07:71:5A:50
<input type="checkbox"/>	ASUSTek COMPUTER...	36 P, 80MHz, 36-48	Wi-Fi 5	5GHz	30:5A:3A:C5:E8:1A
<input type="checkbox"/>	ARRIS Group, Inc.-0B:2...	11	Wi-Fi 4	2.4GHz	A8:9F:EC:0B:2C:1A
<input type="checkbox"/>	C0:94:35:A6:EB:B4	6	Wi-Fi 6	2.4GHz	C0:94:35:A6:EB:B4
<input type="checkbox"/>	Google, Inc.-D3:AA:17	6	Wi-Fi 4	2.4GHz	58:CB:52:D3:AA:17
<input type="checkbox"/>	ARRIS Group, Inc.-C3:E...	11	Wi-Fi 6	2.4GHz	AC:DB:48:C3:E8:1A
<input type="checkbox"/>	F0:2F:74:91:CB:98	4	Wi-Fi 6	2.4GHz	F0:2F:74:91:CB:98

Select/Unselect
☐ All Bands ☐ 2.4GHz ☐ 5GHz ☐ 6GHz
 SSID
 (Support ? and *)

Save the filtered to:

3. AP名の横にあるチェックボックスをチェックして、含めたいAPを選択します。
4. 様々なコントロールを使ってAPリストを並べ替えます。
 - ・列の見出しは、列のタイプによって並べ替えられます。
 - ・「All Bands」チェックボックスは、すべてのリストが選択されます。
 - ・2.4 GHz チェックボックスでは、2.4 GHz に設定されているAPのみが選択されます。
 - ・5 GHz チェックボックスでは、5 GHz に設定されているAPのみが選択されます。
 - ・6 GHz チェックボックスでは、6 GHz に設定されているAPのみが選択されます。
 - ・「Filter」ドロップダウンからオプションを選択するか (SSID、AP Name、MAC)、テキスト入力ボックスに希望の名前を入力して、リストをフィルタリングします。(2つのワイルドカードに対応しています。不完全な名前 (00*など) には * を、Cisco-123?などの不明な文字を置き換えるには ? を使用します。大文字と小文字は区別されます)。次に「Filter」をクリックします。
5. 「Save the filtered to:」では、フィルターしたデータファイルに任意の名前を入力します。
6. 「OK」をクリックします。新しく作成されたフィルタリングファイルは、プロジェクトウィンドウのSurvey Dataの下に表示されます。

Displayビューのメニューとウィンドウ

「Display」ビューのメニューバーには 3つのメニューグループがあり、それぞれにサーベイデータの表示、解析、操作のためのさまざまなメニューオプションがあります。「File」メニューと「View」メニューには、Displayビュー専用のオプションが含まれています。(ヘルプメニューの内容はすべての画面で同じです)。

DISPLAY VIEW: MENUS, BUTTONS, AND WINDOWS

File menu

Edit menu: このメニューには「Copy Heatmap Image (Ctrl+H)」というオプションしかありません。このオプションを選択すると、マップウィンドウに表示されているヒートマップが .png ファイルとしてクリップボードにコピーされます。

View menu

Toolbar

Project window

- Right-click Pop-up Menu
- Data Type List Menu

Overview Window

Map window

- Heatmap Legend
- Using Context-Sensitive Pop-up Menu


File Menu





以下の図は、DisplayビューのFileメニューです。

メニューオプション	説明
New Project...	新しいプロジェクトウィザードが開き、新しいプロジェクトを作成できます。
Open Project...	既存のプロジェクト(.svp)ファイルを開きます。
Save	現在のプロジェクトに加えられた変更を保存します。 Note: このオプションは、開いているプロジェクトファイルに変更が加えられた場合にのみ有効です。
Save Project As...	既存のプロジェクトを新しいファイル名で保存できます。
Close Project	現在のプロジェクトを閉じます。
Configure...	「Configure」ダイアログボックスが開き、プロジェクトのパラメータを設定できます。
Phonebook	VoFi phonebookを設定します。 VoFi phone bookの設定 を参照してください。
Data Merge	すべてのデータファイルを含むウィンドウが開き、マージするファイルを選択できます。
Import Survey Path...	サーベイデータファイルをインポートするための「Import Site Survey Path File」ダイアログボックスを開きます。
Import Survey Data...	「Import Site Survey Data」ダイアログボックスを開き、既存のサーベイプロジェクトのデータをインポートできます。
Import Floor Image...	「Import Site Image」ダイアログボックスが開き、サイトマップをインポートできます。
Export to Google Earth	GPSサーベイをエクスポートして Google Earth で表示できるようにします。
Export AP Config...	「Export AP Config」ダイアログボックスを開き、AP設定データを Excel形式でエクスポートします。
Cisco Prime NCS/WCS Export	Cisco Prime NCS/WCS Planner または Survey プロジェクトがインポートおよび変更された場合は、これらのオプションを使用してエクスポートできます。
Print	マップウィンドウの内容を印刷します。
Print Preview	プレビューウィンドウが開き、印刷内容をプレビューできます。
Print Setup	「プリンターの設定」ウィンドウを開き、印刷設定を行います。
Work in Display Only Mode	ビューアモード（表示オプションが少なく、サーベイオプションがありません）に切り替えることができます。
Recent Projects	最近表示したプロジェクトをすぐに開くことができます。
Multi Floor Planner	Multi Floor Planner を開きます。
Exit	ソフトウェアアプリケーションを終了します。

View Menu

以下の図は、DisplayビューのViewメニューです。

オプション	説明
 Zoom In	マップウィンドウの現在のフロアマップを拡大表示します。





 Zoom Out	マップウィンドウの現在のフロアマップを拡大表示します。
 Zoom to Fit	現在のフロアマップをマップウィンドウに合わせます。
 Zoom to Actual	現在のフロアマップを実際の印刷スケールに合わせます。
Size	
Set Zoom...	「Set Zoom」ダイアログボックスを開き、マップの表示倍率を指定できます。
Show CAD Layers...	AutoCAD イメージのどのレイヤーを表示するか、またイメージに複数のレイアウトがある場合はどのレイアウトを表示するかを選択できます。この機能は、Displayビューでイメージを右クリックしたときにも使用できます。
Toolbars and Docking Windows	レジェンドやステータスバーを表示（オン）または非表示にできます。デフォルトのツールバー設定が変更されている場合は、「Reset Toolbars」をクリックしてツールバーをデフォルト設定にリセットします。
Show Rulers	マップウィンドウの端のルーラーを表示または非表示にします。
Show Grids	マップウィンドウのグリッドを表示または非表示にします。
Invert Legend Colors	レジェンドの配色を反転します。
Filter APs	「Data Filtering By APs」ダイアログボックスを開き、選択したAPに関連するデータのみを含むフィルタリングされたサーベイデータファイルを作成することができます。
Overlap	マップウィンドウで信号のオーバーラップまたはチャネル干渉を表示または非表示にすることができます。選択したデータタイプが 1st AP であることを確認してください。
Overall	サイト全体の RF カバレッジを表示します。このオプションはデフォルトで有効になっています。
Per Channel	データをチャネルごとに表示します。
Per SSID	データをSSIDごとに表示します。
Lock AP Location	APをサイトマップ上のそれぞれの位置にロックすることができます。注: この機能は、サーベイ結果をより正確にするのに役立ちます。
Project Properties...	「Project Properties」ウィンドウが開き、サーベイサイトのフロアマップの物理プロパティを調整できます。
AP/Path Name Font...	「Font」ウィンドウを開き、フロアマップ上のAPとサーベイ経路のフォントプロパティを変更できます。
Measure Mode	Measure Modeをオンにすると、サイトマップ上の任意の2点間の距離を測定できるようになります。測定値に基づいてサイトの寸法を再調整することも選択できます。
Throughput Simulator	スループットシミュレータを開きます。 「Simulation Viewについて」 を参照してください。
 Refresh	ヒートマップ表示を更新して、変更を反映させます。













DisplayビューのToolbar

Displayビューのツールバーには、サーベイデータを表示するために頻繁に使用するツールが含まれています。これらのツールの一部は、「Displayビュー」の「File」および「View」メニューにあるものと同じです。

次のスクリーンショットは、ツールバーがドッキングされていない状態を示しています。ツールバーは、左端にあるハンドルをドラッグすることでドッキングを解除できます。



アイコン	名前	説明
	Project Wizard	新規プロジェクトウィザードを開き、新しいサーベイプロジェクトを作成します。「File」メニューを参照してください。
	Open Project	既存のサーベイ(.snp)ファイルを開きます。「File」メニューを参照してください。
	Save	現在のプロジェクトに加えた変更を保存します。
	Configuration	サーベイ設定ウィンドウを開きます。「File」メニューを参照してください。

	Print	マップウィンドウに表示されている内容を印刷します。
	Site Image	「Import Site Image」ウィンドウが開き、サイトマップをインポートできます。
	Import Path	サーベイデータファイルをインポートするための「Import Site Survey Path File」ダイアログボックスを開きます。
	Import Survey Data	「Import Site Survey Data」ウィンドウを開き、サイトサーベイデータ(.svd または .svdx) ファイルをインポートできます。
	Zoom In	サイトマップを拡大表示します。
	Zoom Out	サイトマップを縮小表示します。
	Zoom Fit	サイトマップをマップウィンドウに合わせます。
	Actual Size	サイトイメージを印刷時のサイズで表示します。
	Measure Mode	Measure Modeを起動し、サイトマップ上の任意の2点間の距離を測定できるようにします。 「 フロアプランスケールの測定と調整 」を参照してください。
	Toggle Outline	ヒートマップがあるレジェンド値から次の値へ遷移するアウトラインを表示できます。
	Create Comment	表示されているマップ上の任意の場所にコメントフィールドを配置できます。これを行うには、ボタンをクリックしてから、コメントを挿入する場所をクリックします。
	Refresh	ヒートマップの生成とリフレッシュ
	Overlap	マップウィンドウで選択したAPの重複するカバレッジ領域を表示または非表示にします。
	Filtering	プロジェクトからAPデータをフィルタリングします。
	Tools	Signal Dist/DHCPツールを開きます。
	Calculator	calculatorツールを開きます。

Displayビューのツールバーには、以下のオプションがあるドロップダウンメニューもあります：

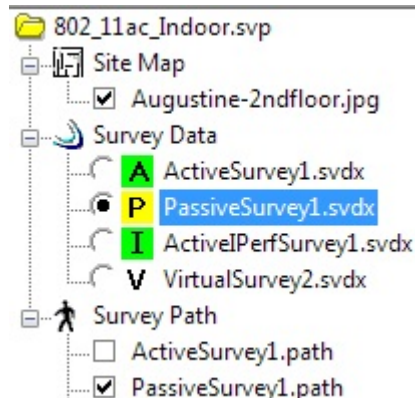
View Overall: 全体的な RF カバレッジをマップウィンドウに表示します。このオプションはデフォルトで有効になっています。

View Per Channel: チャンネル別にデータを表示する。**Channel/SSID**リストの**Channel**タブを選択する必要があります。

View Per SSID: SSID 別にデータを表示します。**Channel/SSID**リストの**SSID**タブを選択する必要があります。


Project Window

下の図は、Displayビューのプロジェクトウィンドウです。



上の図に示すように、プロジェクトウィンドウには、サーベiproジェクトのファイルが3つのフォルダに分かれて表示されます：

- **Site Map:** サーベiproジェクトのすべてのサイトマップ(フロアプラン)を表示します。サイトマップを選択するには、マップファイルの前のチェックボックスにチェックマークを入れます。選択したマップがマップウィンドウに表示されます。デフォルトでは、新しいプロジェクトを作成したとき、または既存のプロジェクトを開いたときに、サイトマップが自動的に選択され表示されます。
- **Survey Data:** このプロジェクトで利用可能なデータファイルを一覧表示し、各ファイルは個々のサーベiyを表します。サーベiy中に取得した SSID、AP、信号強度、ノイズレベル、SN比などのデータが含まれています。ファイルの種類は以下のとおりです：

Code	Survey Type
A	Active survey
P	Passive survey
A _n	Survey Mobile app survey
A _m	AirMapper active survey file from the 1x1 radio
I	iPerf survey
M _a	Merge survey
M _s	Merged survey
S	Simulation survey
	VoFi survey
V	Virtual survey

- **Survey Path**(サーベiproジェクトにのみ適用され、マルチフロアプランナープロジェクトには適用されません)：サイトサーベiy中に記録されたすべてのサーベiyパスを表示します。記録したサーベiy経路の数だけフォルダを作成し、必要な数だけ表示することができます。サーベiy経路を表示するには、**Survey Path**ファイルの前のチェックボックスにチェックマークを入れます。

対応するラジオボタンにチェックを入れたり外したりするだけで、任意のファイル(サイトマップ、サーベiyデータ、サーベiyパス)の表示/非表示を切り替えることができます。Surveyビューのプロジェクトウィンドウとは異なり、Displayビューのプロジェクトウィンドウには、APフォルダの代わりにSurvey Dataフォルダがあります。

デフォルトでは、Displayビューに切り替えると、最後に開いたサイトマップが自動的に選択され表示されます。プロジェクトに複数のサイトマップが含まれている場合、まだ開かれていなければ、表示したいサイトマップを選択する必要があります。また、Displayビューに切り替えても、マップウィンドウにはサーベiyデータは表示されません。表示するには、サーベiyデータファイルを選択する必要があります。

データファイルの変換

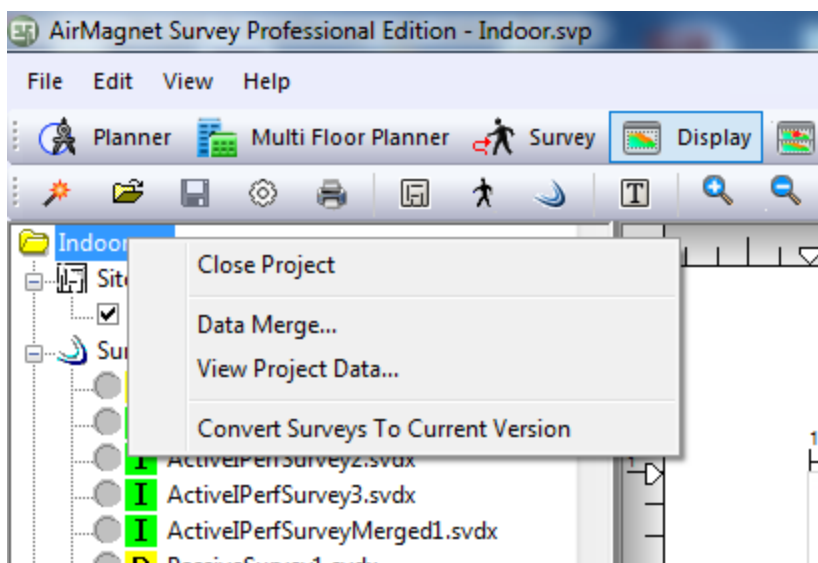
Survey PRO/Planner バージョン 8.8 以降、プロジェクトデータファイルの拡張子が .svd から .svdx に変更されました。.svdの拡張子を持つデータファイルを含むプロジェクトは、バージョン8.8以降でも開くことができますが、Displayビューでデータファイルを選択した場合(例)、ファイルを .svd から .svdx に変換するよう求められます。

変換中、古いファイルは保存され、新しい .svdx ファイルが作成されます。

Survey PRO、Survey Express、または Survey Planner のバージョン 8.7 以前では、拡張子が .svdx のプロジェクトを開くことはできません。

サーベiyデータファイルを .svdx に変換するには：

1. Displayビューでプロジェクトを右クリックし、「Convert Surveys to Current Version」を選択します。



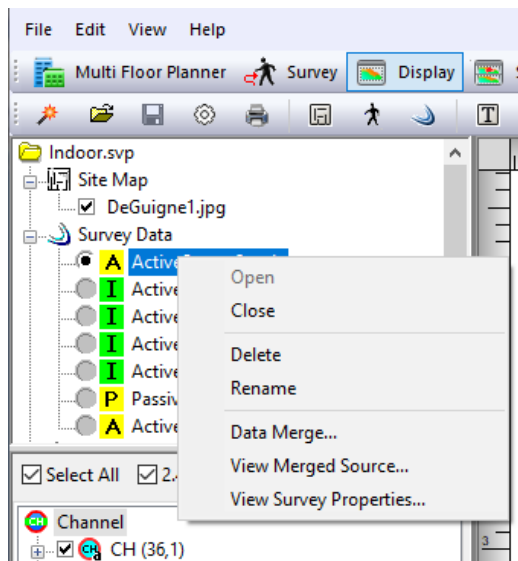
2. 「はい」をクリックして確定し、変換プロセスを開始します。

進行状況ウィンドウに変換中のファイルが表示されます。ファイル変換中に「キャンセル」をクリックすると、現在のファイルが完了してから次のファイルが開始される前にプロセスがキャンセルされます。

Right-click Pop-up Menu

SurveyビューとDisplayビューのプロジェクトウィンドウには、右クリックメニューもあります。一部かのオプションはSurveyビューで利用でき、他のオプションはDisplayビューで利用できます。使用できないオプションはグレー表示されます。

サーベイデータファイルを右クリックすると、右クリックメニューのオプションが表示されます。



メニューオプション	説明
Close	このデータファイルを閉じます。
Delete	選択 (右クリック) した項目を削除します。
Rename	このデータファイルの名前を変更します。
Data Merge...	2つ以上のデータファイルをマージすることができます。 Note: このオプションはDisplayビューでのみ使用できます
View Merged Source ...	マージされたデータファイルの作成元を表示します。

View Survey properties ...

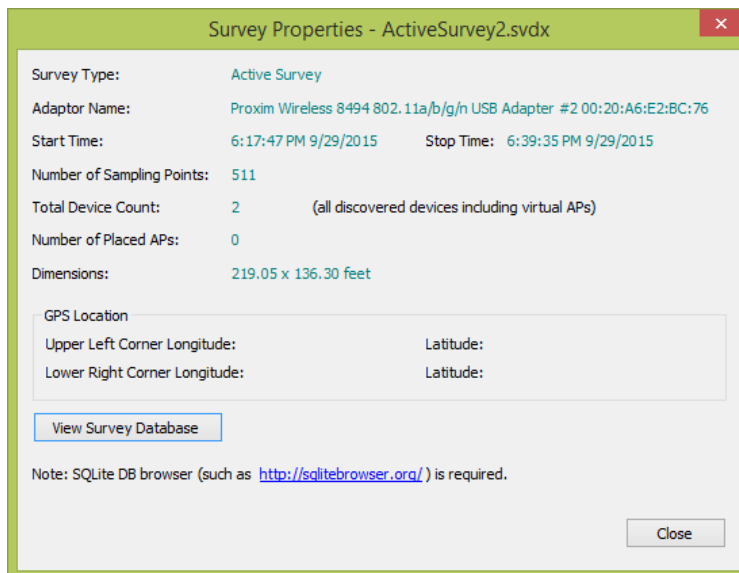
ファイルに関する情報を表示するウィンドウを開きます。

View Survey properties

プロジェクトウィンドウでサーベイデータファイル(.svdx)を右クリックし、ポップアップメニューから「View Survey properties」を選択します。下図のような「Survey Properties」ダイアログが開きます。

Note: このオプションは、Survey バージョン 8.8 以降の「View Raw Data」に代わるものです。

「Survey Properties」ダイアログには、選択したサーベイデータファイルに関する情報が表示されます。

**View Survey Database**

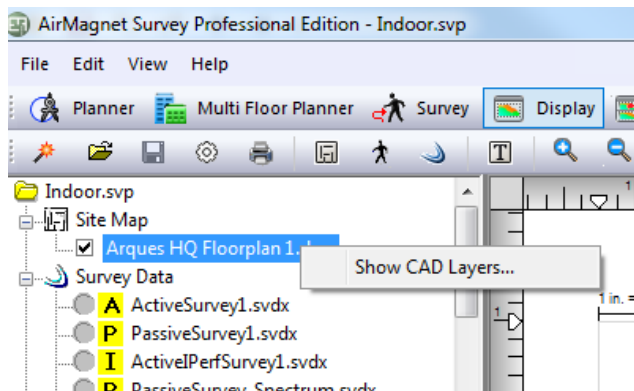
「Survey Properties」には、選択したサーベイデータファイルに含まれるデータベースの詳細を表示するオプションが含まれています。

データベースを表示するには、DB Browser for SQLite などのデータベース ビューア アプリケーションが必要です：
<http://sql-itebrowser.org/> からダウンロードできます。

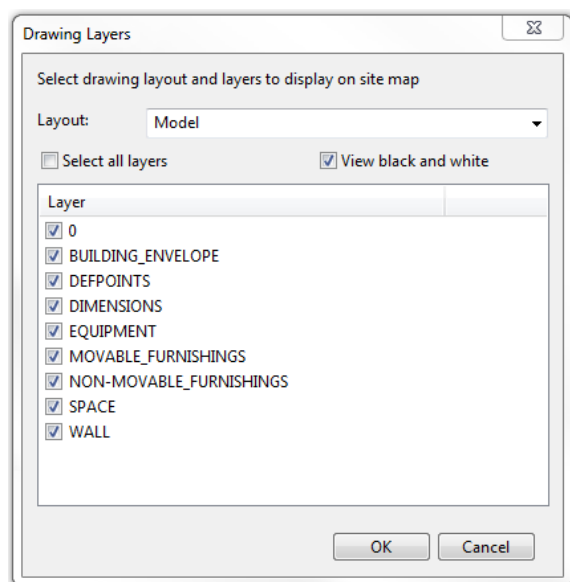
「View Survey Database」をクリックします。Windows から、データベースを目的のデータベース ビューア アプリケーションに関連付けるように求められる場合があります。

右クリックで Show CAD Layers を表示

プロジェクトウィンドウで、AutoCADイメージファイルを右クリックし、「Show CAD Layers...」を選択します。



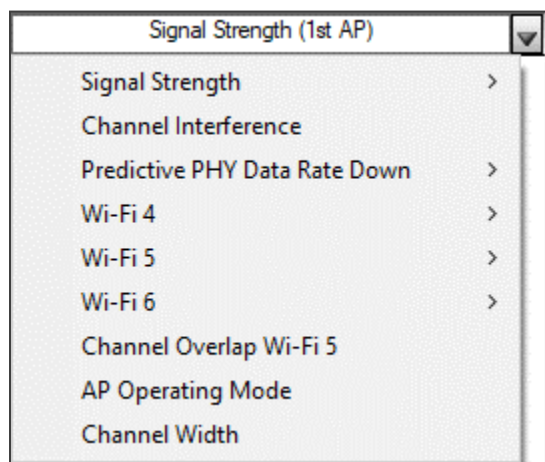
以下の図のように、[Drawing Layers...] ダイアログが開きます。



Data Type List Menu

このオプションは、データがロードされた後、つまりプロジェクトウィンドウからデータファイルが開かれた後にのみ「Displayビュー」で使用できます。マップウィンドウに表示するデータの種類を選択できます。下矢印をクリックするとオプションにアクセスできます。

ここに表示されるデータタイプは、Channel/SSIDツリーからの選択に関連します。マップウィンドウに表示される内容に影響し、カラーレジェンドや解析ツールのオプションにも影響する場合があります。



Overview Window

Displayビューの左下隅には**Overview**ウィンドウがあり、マップウィンドウで使用されているViewオプションに関係なく、サイトマップ全体を俯瞰することができます。これにより、“全体像を見失う”ことなく、マップウィンドウでさまざまなViewオプションを試すことができます。



デフォルトでは、サーベイデータファイルを開くと、Overviewウィンドウは赤いボックスで囲まれ、サイト(マップ)全体にフォーカスが当たっていることを示します。特定の場所に焦点を当てたい場合は、赤い枠の外側を右クリックして枠を消し、マップ上でクリックして任意の枠をドラッグします。このボックスをドラッグして、マップ上の特定のエリアを拡大し、マップウィンドウでその部分をクローズアップして見るすることができます。

Map Window

Displayビューのマップウィンドウでは、選択したデータファイルに含まれるデータを表示および解析できます。

サイト上の任意の位置(XY座標)のデータは、マウス ホバーと測定の詳細の2つの方法で表示できます。いずれの場合も、表示されるデータは、Displayビューの上部にあるドロップダウンで選択したData Typeの選択によって異なります。

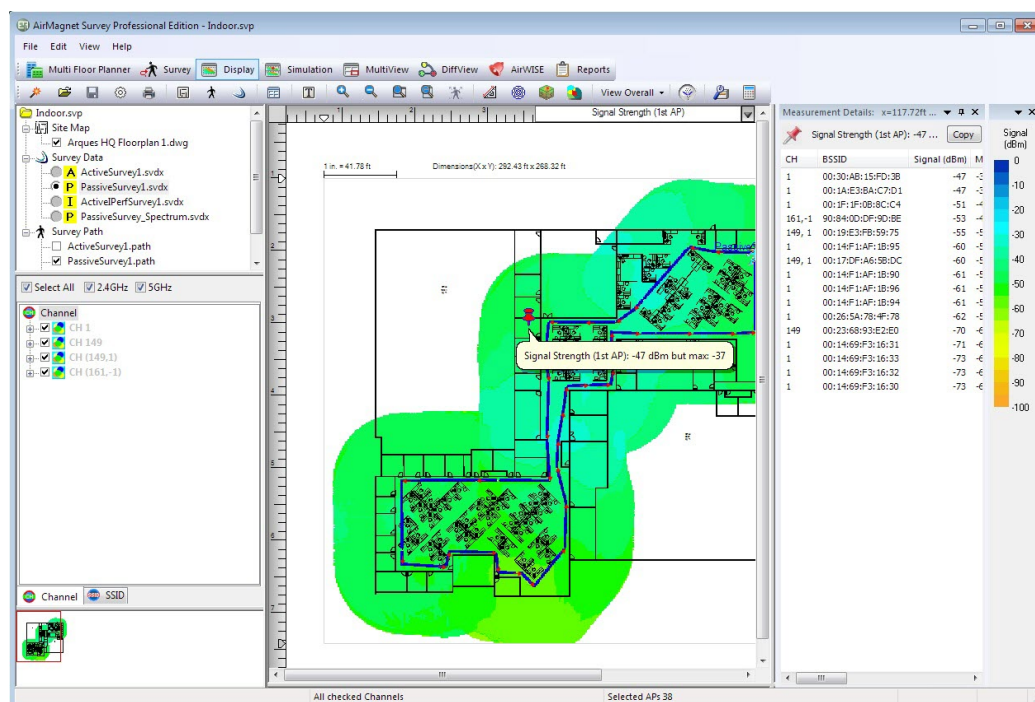
Mouse hover: ヒートマップ上のポイントにマウスカーソルを合わせると、現在選択されているデータタイプの概要がバルーンチップに表示されます。

Measurement Details: ヒートマップ上の任意のXY座標をクリックすることで、ヒートマップ上の任意の場所の測定詳細を表示できます。ドッキング可能なウィンドウが開き、詳細データが表示されます。赤いプッシュピンは、選択された座標位置を示します。列の見出しをクリックすると、データを列ごとに昇順または降順に並べ替えることができます。

ドッキング可能なウィンドウから「Copy」をクリックして、データの詳細をクリップボードにコピーします。

また、さまざまな配色や解析ツールを使ってデータを視覚化し、解析することもできます。

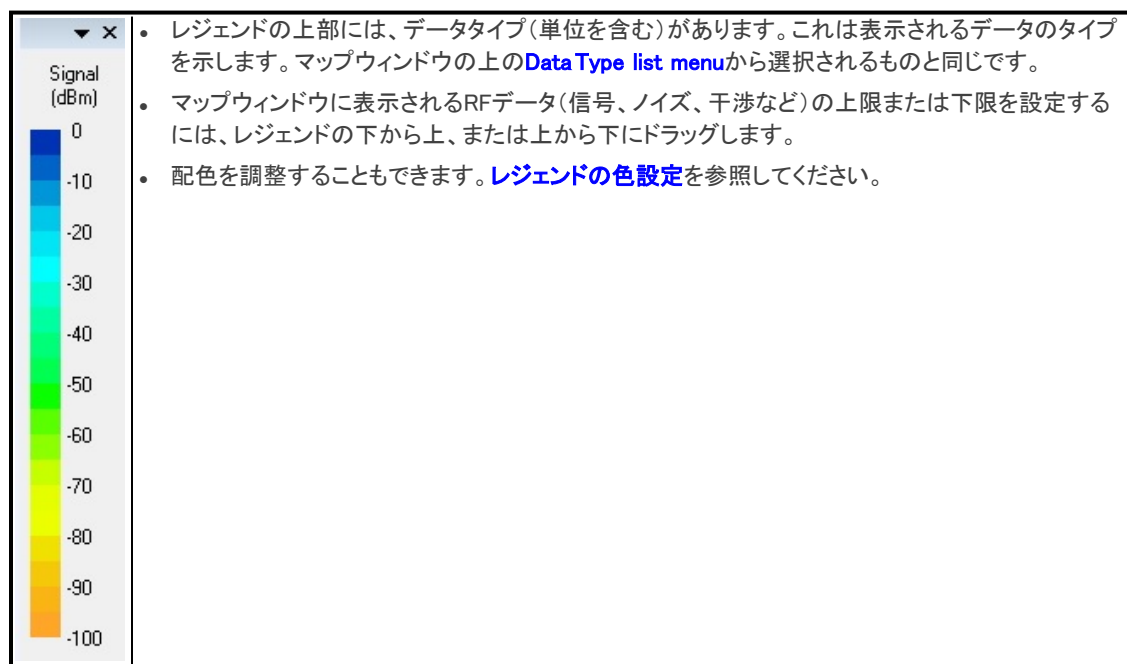
[DiffView と Data Analysisについて](#)を参照してください。



Legend

「Display」ビューの右側には「レジェンド」が表示され、さまざまな配色やパターンを使用して、サーベイデータを表示および解析するためのさまざまな方法が用意されています。

Note: グレーと白色は、ヒートマップに表示され、レジェンドには表示されないことがあります。白色はカバレッジがないことを示します。グレーは、カバレッジ要件が満たされていないことを示しています。



Context-Sensitive Pop-up Menuの使用

マップウィンドウを右クリックすることで、コンテキストのポップアップメニューにアクセスできます。このメニューはアプリケーションのすべての主要画面で利用できます。名前が示すように、ポップアップメニューの内容は状況によって異なります。

context-sensitive pop-up menuにアクセスするには:

1. マップビューの任意の部分で右クリックします。コンテキスト依存のポップアップメニューが表示されます。

オプション	説明
AP Properties	右クリックしたAPのプロパティを表示できます。このオプションは、マップウィンドウでAPを右クリックした場合のみ利用可能です。
Project Properties	View Menu と同じです。
AP/Path Name Font	View Menu と同じです。
Show Rulers	View Menu と同じです。
Show Grids	View Menu と同じです。
Hide AP Icons	APアイコンを非表示にし、レポートに表示しないようにします。
Disable Measurement Tooltip and Details Window	マップウィンドウの上にマウスを置いたときにチップ画面がポップアップしないようにします。
Hide APs Below Legend Threshold	レジェンドに設定された閾値範囲外のAPを非表示にします。(レジェンドの両端をクリックし、中心に向かってドラッグすることで範囲を調整できます)
Smaller Survey Man	マップ上の人物のアイコンを縮小します。(イトサーベイ時にのみ適用されます。)
Show Arrows in Path	サーベイ経路に方向矢印を追加します。この矢印は、サーベイ中にたどった経路の開始から終了までのコースを示します。(マルチフロアプランナーには適用されません。)
Show Heatmap	ビューからヒートマップを削除します。
Delete location information for this AP	選択したAPの位置情報を削除します。
Set Zoom...	ズームレベルを設定します。
Copy	View Menu と同じです。
Copy Current View	現在のマップウィンドウの内容をコピーして、他のアプリケーションに貼り付けができます。(これは、詳細な解析のために焦点を合わせた領域をコピーするのに便利です。)
Print Current View	現在のマップウィンドウのコンテンツビューを他のアプリケーションに印刷します。(焦点を合わせた領域を印刷すると、詳細な解析に役立つ場合があります。)
Export to Google Earth	データをGoogle Earthにエクスポートします。